# 警防 泡

## 現有車両の諸性能

(平成25年3月31日現在)

車名 区分	車種	型 式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備考
1号車	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23. 2.22	水2,000ℓ(Ⅱ型)
2号車	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	11	H14. 1.25	(CD- I 型)
3号車	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 U-FD3HGAA 改	日本機械 V-3000	A1	"	H 2.11.19	出光興産から300万円寄 贈 水1,500ℓ(I-B型)
4号車	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE568B 改	モリタ ME-5	A2	11	H10.10.30	(CD- I 型)
5号車	広報車	スバル E-BG5 改			"	H 6. 7.21	4WD
6号車	指揮車	ニッサン GF-PC24			"	H12. 2.24	
7号車	化学消防ポンプ 自動車	日野 KC-FD1JGBA	日本機械 R-3	A2	11	H 9.10.28	水1,300ℓ 薬 500ℓ(Ⅱ型)
8号車	調査車	トヨタ GB-RZH112V			"	H 9. 6.25	
9号車	小型動力ポンプ付 積載車	ダイハツ V-S110P 改	トーハツ V66BM	B2	"	H 8.11.21	4WD
10号車	救助工作車	日野 KK-GD1JGDA 改			"	H12. 8.18	(Ⅱ型)
11号車	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 KK-FD1JGDA 改	モリタ ME-5	A2	"	H14.12.16	水1,500ℓ(I-A型)
12号車	水槽付消防ポンプ 自動車	いすゞ PB-FRS35G3J 改	モリタ ME-5	A2	"	H18.12.13	災害対応型、緊援隊 4WD 水1,500ℓ(I-A型)
13号車	水槽付消防ポンプ 自動車	日野 U-FD3HGAA改	日本機械 R-3	A2	"	H 4. 2.28	水2,000ℓ(Ⅱ型)
14号車	はしご付消防ポンプ 自動車	日野 U-PR2FNAF			"	H 5. 9.24	福岡県と共同購入 40m
15号車	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE538B 改	モリタ ME-3A	A2	"	H 7.12. 6	(CD- I 型)
16号車	人員搬送車	トヨタ SDG-X2B50			11	H25. 2.21	乗車定員29人
31号車	査察車	マツダ E-GV8W			"	H 9. 6.30	
32号車	乗用車	トヨタ E-JZS131			"	H 7. 4.24	
33号車	事務連絡車	トヨタ E-AE100G			無	H 8. 9. 5	
34号車	指令車	トヨタ GF-ST215G			有	H12.10.13	
35号車	   資機材搬送車 	トヨタ KK-XZU362			"	H15. 8.29	
救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			11	H21.12. 4	災害対応型 4WD
救急2号車	高規格救急自動車	トヨタ TC-VCH38S			"	H17. 3.29	災害対応型 4WD
救急3号車	高規格救急自動車	ニッサン TC-FPWGE50 改			11	H17.12.13	災害対応型、緊援隊 動態情報システム 4WD
救急4号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			11	H24. 9.21	災害対応型 4WD
救急5号車	高規格救急自動車	トヨタ GB-VCH38S			"	H 9.11.19	災害対応型 4WD

## いろいろな消防ポンプ自動車

## 水槽付消防ポンプ自動車



 $2,000 \ell$  の水を積載し、火災現場に直近して消火活動を行うことができます。

#### 化学消防ポンプ自動車



化学車は、主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,300ℓの水と500ℓの 泡消火薬剤を積載しています。

## はしご付消防ポンプ自動車



はしご車は、主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動、警戒活動を行います。(40m)

## 高規格救急自動車



この救急車は、患者監視装置、自動体外式除細動器(AED)、自動式心臓マッサージ器をはじめとする高度救急医療資器材を積載しています。

## 救助工作車



救助工作車は、火災救急等 各種の災害現場で救助活動を 目的にした消防車で、空気呼 吸器やレスキューカッター・ 照明装置など各種救助資機材 を積載しています。

## 現有車両の配置状況

(平成25年3月31日現在)

本部·署所別区分	本 部	本 署	福 間 分 署	赤 間出張所	神 湊出張所	大 島 分遣所	計
消防ポンプ自動車		1	1	1			3
水槽付消防ポンプ自動車		2	1	1	1		5
化学消防ポンプ自動車		1					1
はしご付消防ポンプ自動車		1					1
救 助 工 作 車		1					1
高規格救急自動車		2	1	1	1		5
指 令 車			1				1
指 揮 車		1					1
小型動力ポンプ付積載車						1	1
乗 用 車	1						1
査 察 車	1						1
事 務 連 絡 車	1						1
人 員 搬 送 車	1						1
広 報 車	1						1
資 機 材 搬 送 車		1					1
調査車		1					1
合 計	5	11	4	3	2	1	26

## いろいろな救助資機材

#### 空気呼吸器



各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「呼吸保護用器具」は、消防活動に欠かすことのできない重要な機材です。

#### 大型油圧式救助器具



交通事故や労働災害などで挟まれた人を救助する場合に使用します。エンジンポンプからの油圧の力により作動し、先端のツールを取り替えることで、拡張・圧縮・持ち上げ・引っ張り・切断等の作業を行うことができます。

## マット型空気ジャッキ



マット型空気ジャッキは、空気ボンベ、圧力 調整器、ホース、調整器、バックで構成され、 空気圧を利用して重量物の持ち上げ、変形し たドアなどの開放に使用されます。

#### ガス検知器



ガス漏洩事故や、マンホールの中、地下階等に滞留した可燃性ガス、毒性ガスを検知するための検知器です。測定できるガスは、酸素・可燃性ガス・硫化水素・一酸化炭素の4種類です。

## 救命索発射銃



高圧空気を利用して、ロープが繋がれたゴム弾等を発射する銃です。孤立した人にロープを渡すためのゴム弾と、溺れている人に対して、着水後に浮き輪がガスにより膨らむ浮環弾を装備しています。ゴム弾は85m、浮環弾は70m飛ばすことができます。

#### 熱画像直視装置



熱画像直視装置は、物体表面から自然放射されている赤外線を画像として、モニター上に表示するもので暗闇や濃い煙の中にとり残された人を発見したり、火元や残り火を確認するものです。

## 救助資機材の配置状況

(平成25年3月31日現在)

区分	署所別	本 署	福間分署	赤間出張所	神 湊	大 島 分遣所	計
	三連はしご	2	1		1		4
一般救助器具	救命索発射銃	1					1
重量物排除用器具	可搬ウインチ	2					2
	エンジンカッター	2	1				3
切 断 用 器 具	酸素溶断機	1					1
	チェーンソー	2	1	1	1	1	6
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	6
呼吸保護用具	空気呼吸器	23	6	8	3	1	41
			I				
   重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ	1	1				2
主主物が例如会	大型油圧スプレッダー	1	1				2
  切 断 用 器 具	空 気 鋸	1	1				2
9) [0] [1] [1]	大型油圧切断機	1	1				2
破壊用器具	削 岩 機	2					2
	有毒ガス測定器	2					2
測定用器具	酸素濃度測定器						
	放射線測定器	2					2
呼吸保護用具	送 排 風 機	1					1
検索用器具	熱画像直視装置	1					1
水難救助用器具	潜水用具一式	8					8
小無拟助用品具	水中テレビカメラ	1					1

## 消防水利の現況

(平成25年3月31日現在)

	水疗	利区分			ß	5 火	水木	曹			
市別	J		消火栓	/]\	計	100 t 以上	60 t 以上 100 t 未満	40 t 以上 60 t 未満	計		
宗	像	市	937	428		29	152	247	1,365		
福	津	市	711	242		242		8	179	55	953
F	수 를	+	1,648	67	0	37	331	302	2,318		

## いろいろな救急資器材

#### 酸素吸入器



低酸素状態の傷病者等に対して酸素を与えることができます。

#### 電動吸引器



傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

## 気道確保器具



救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者 に対して、医師の具体的指示を受けて、使用 する気道確保器具で、口から肺までの空気の 通り道を確保することができます。

#### 監視モニター(患者監視装置)



傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

#### 脊椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

## 自動体外式除細動器(AED)



高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

## 救急資器材の配置状況

(平成25年3月31日現在)

署所別区 分	本署	福間分署	赤間出張所	神湊出張所	計
<del>- 7</del> 外 傷 バ ッ グ	2	1	1	1	5
手 動 式 人 工 呼 吸 器	2	1	1	1	5
人 工 呼 吸 器	2	1	1	1	5
減 圧 式 固 定 具	2	1	1	1	5
С Р R ボ ー ド	2	1	1	1	5
はさみ (レスキューシーザー)	2	1	1	1	5
喉頭鏡・マギール鉗子	2	1	1	1	5
自動式心肺蘇生器	2	1		1	4
頸椎固定具(ファーノケット)	2	1	1	1	5
頸椎固定具(ヘッドイモビライザー)	2	1	1	1	5
異物除去具(スロートイーバッグ)	1	1	1	1	4
電 動 吸 引 器 一 式	2	1	1	1	5
ドアオープナー	2	1	1	1	5
聴	1	1	1	1	4
ウ イ ン ド ポ ン チ	2	1	1	1	5
ボルトクリッパー	1	1	1	1	4
患 者 監 視 装 置	2	1	1	1	5
携帯用心電図	2	1	1	1	5
ショックパンツ	1	1	1	1	4
血圧計(携帯用アネロイド)	2	1	1	1	5
在宅療法資器材標準セット	2	1	1	1	5
レスキューセット	2	1	1	1	5
輸 液 ポ ン プ	2	1	1	1	5
A E D (自動体外式除細動器)	2	1	1	1	5
バックボードー式	2	1	1	1	5
携带用酸素飽和度測定器	2	1	1	1	5
スクープストレッチャー	2	1	1	1	5
カーディオポンプ	1	1	1	1	4

#### 平成24年中の火災概況

#### 1 出火件数

平成24年中の出火件数は64件であり、前年に比べ9件減少している。

火災種別ごとの件数をみると、建物火災が30件と最も多く、出火件数の46.9%を占め、その他の 火災23件(35.9%)、車両火災7件(10.9%)、林野火災4件(6.3%)となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、建物火災が1件、林野火災が4件、その他の火災が5件減少 し、車両火災が2件増加している。

#### 2 火災の損害・死傷者の状況

平成24年中の建物焼損棟数は42棟で、前年に比べ4棟増加している。焼損床面積については、2,078平方メートルで、前年に比べ1,223平方メートル増加している。また、林野火災における焼損面積は16アールで、前年に比べ10アール減少している。

平成24年中の火災による損害額は、198,992千円で、前年に比べ89,260千円増加している。

平成24年中の火災による死傷者数は、死者については2人で前年と同じ、負傷者については10人で、前年に比べ3人減少している。

#### 3 出火原因

平成24年中の出火件数64件のうち、たき火(12件)、こんろ(9件)、放火(4件)が全体の39.1%を占めている。

たき火が原因による火災は前年の16件から4件減少し、放火(放火の疑い含む)が原因による火 災は前年に比べ8件減少している。

#### 4 住宅用火災警報器における奏功事例

平成24年中建物火災において、住宅用火災警報器の設置状況をみると、住宅火災15件中3件に設置され、うち1件が警報器の作動により被害を最小限に抑えられた。

事例:住宅用火災警報器の警報音に気づき、自宅に戻ると寝室の住宅用火災警報器が鳴動し、台 所のガステーブルの鍋から炎が上がり、住戸内に煙が漂っていたもので、バスタオルを使用し初期 消火を行ったもの。

また、火災までは至らず、早期に住宅用火災警報器(ホームセキュリティ含む)の作動により発見された事例が1件あり、火災を未然に防ぐ効果があった。

事例:ガスコンロに鍋をかけ、火をつけたまま外出し、その後、隣戸の住人が警報音に気づき、119番通報したもの。消防隊到着時、屋内に煙が充満し、住宅用火災警報器が鳴動しており、1階台所のガスコンロが点火状態であったため、ガスコンロの点火スイッチを切ったもの。

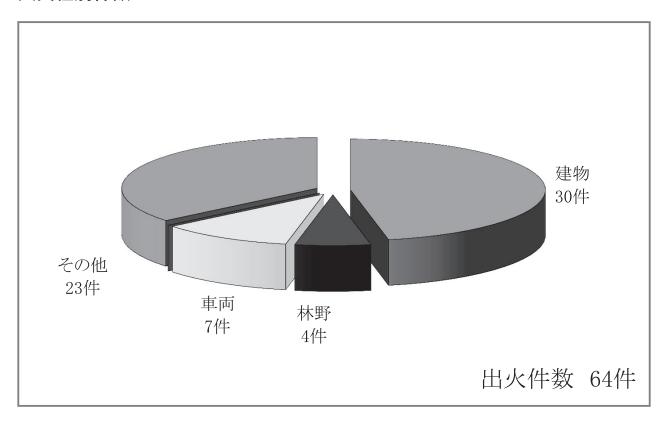
## 火災の状況

(過去2年間)

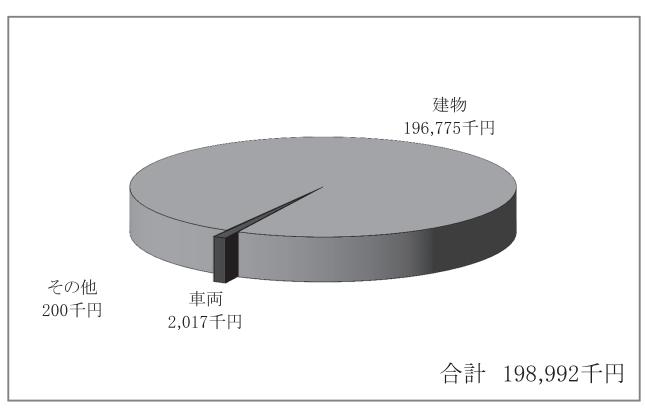
	区	分	`		平成24年	平成23年	対前年比
出	火	件	数	件	64	73	△ 9
	建	物火	災	件	30	31	△ 1
	林	野火	災	件	4	8	$\triangle 4$
	車	両 火	災	件	7	5	2
	船	舶 火	災	件		1	△ 1
	航 空	≧ 機 火	災	件			
	その	他のり	义 災	件	23	28	△ 5
焼	損	棟	数	棟	42	38	4
	全		焼	棟	10	4	6
	#		焼	棟	4	4	
	部	分	焼	棟	16	14	2
	ぼ		や	棟	12	16	△ 4
焼	損床面	積(建均	物)	mi	2,078	855	1,223
焼	損表面	積(建学	物)	mi	39	103	△ 64
焼	損面	積( 林 里	予 )	а	16	26	△ 10
死		者	数	人	2	2	
負	傷	者	数	人	10	13	△ 3
6)	災	世帯	数	世帯	29	32	△ 3
	全		損	世帯	9	9	
	*		損	世帯	1		1
	小		損	世帯	19	23	$\triangle 4$
6)	災	人員	数	人	83	77	6
損		害	額	千円	198,992	109,732	89,260
	建	物火	災	千円	196,775	104,479	92,296
	林	野 火	災	千円			
	車	両 火	災	千円	2,017	2,981	△ 964
	船	舶 火	災	千円		2,267	△ 2,267
	航 空	≧ 機 火	災	千円			
	その	他の少	く災	千円	200	5	195
全	火災1イ	牛当り損	害額	千円	3,109	1,503	1,606
		損 害	額	千円	6,559	3,370	3,189
建生	物火災	建物焼損	員面積	m¹	69.3	27.6	41.7
		焼 損	棟 数	棟	1.4	1.2	0.2
1 1	件当り	り災・	世帯	世帯	1.0	1.0	
		り災。	人員	人	2.8	2.5	0.3
出		火	率	件	4.17	4.78	△ 0.61
人				人	153,375	152,680	695

(注) 出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は平成24年12月31日現在の住民基本台帳による)

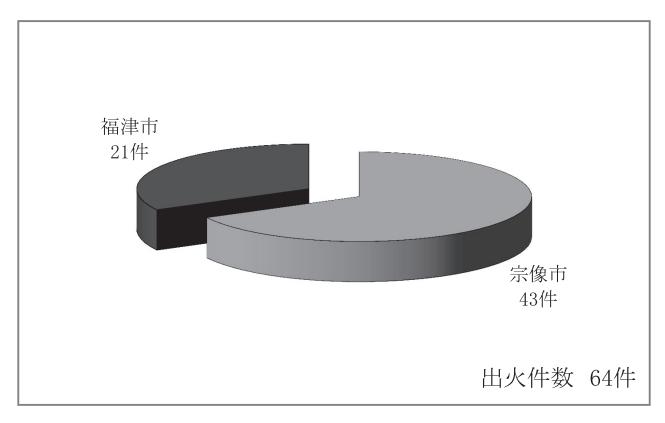
## 火災種別件数



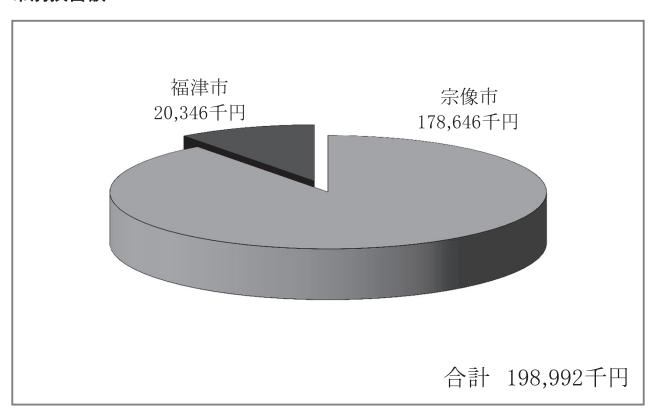
## 火災種別損害額



## 市別出火件数



## 市別損害額



## 宗像市内の火災状況

									l						
区分	}	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出	火 件 数	件	5	2	5	3	5	6	2	3	2	6	1	3	43
	建物火災	件		1	5	2	3	2	2	1	1	1		3	21
	林野火災	件										1			1
	車 両 火 災	件	1				1	3							5
	船舶火災	件													
	航空機火災	件													
	その他の火災	件	4	1		1	1	1		2	1	4	1		16
焼	損 棟 数	棟		2	9	3	3	2	4	1	1	1		6	32
	全 焼	棟		1	1	1			2			1		2	8
	半 焼	棟			1		1		1					1	4
	部 分 焼	棟		1	2	2		2	1		1			2	11
	ぼや	棟			5		2			1				1	9
焼排	員床面積(建物)	mf		84	200	122	42	4	1,169		1	12		203	1,837
焼損	員表面積(建物)	m³			15	4			4		2			4	29
焼扌	員面積(林野)	а										1			1
死	者数	人			1							1			2
	建物火災	人			1										1
	建物火災以外	人										1			1
負	傷者数	人			2		1	1	2					1	7
	建物火災	人			2		1		2					1	6
	建物火災以外	人						1							1
損	害額	千円	262	5,015	7,684	3,437	1,722	2,057	133,302	25	863	2		24,277	178,646
	建物火災	千円		5,015	7,684	3,437	1,682	607	133,302	20	863	2		24,277	176,889
	林野火災	千円													
	車両火災	千円	67				40	1,450							1,557
	船舶火災	千円													
	航空機火災	千円													
	その他の火災	千円	195							5					200
1)	災 世 帯 数	世帯		1	5	2	2			1	1			5	17
	全損	世帯			2									2	4
	半 損	世帯					1								1
	小損	世帯		1	3	2	1			1	1			3	12
1)	災人員	人		2	12	8	4			5	2			13	46

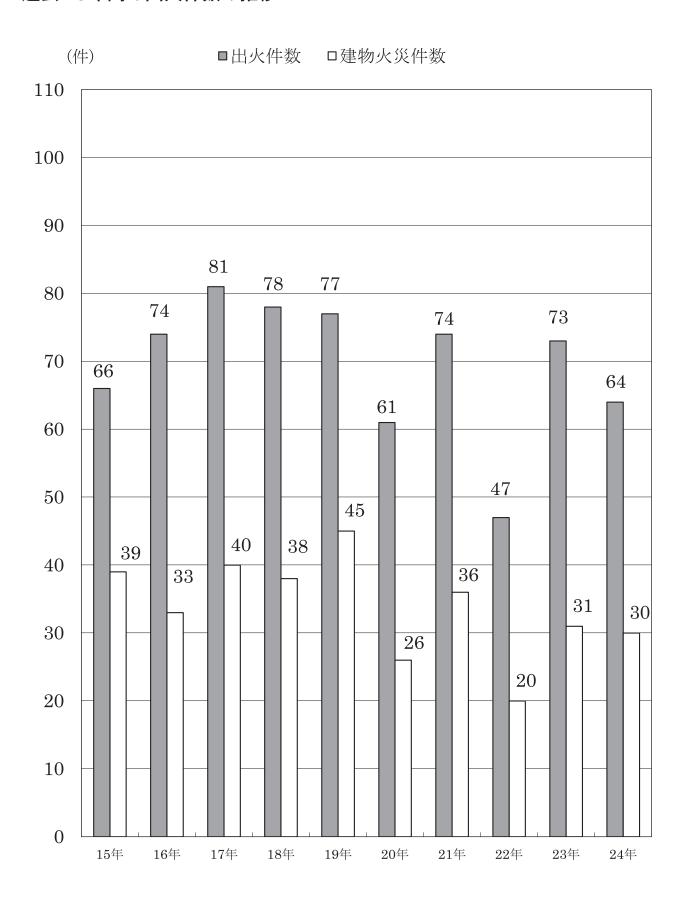
## 福津市内の火災状況

区分	}	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出	火 件 数	件	1	1	3	2	3	2	1	3	3		1	1	21
	建物火災	件			1	1	1	1	1	1	2			1	9
	林 野 火 災	件			1			1			1				3
	車両火災	件					1			1					2
	船舶火災	件													
	航空機火災	件													
	その他の火災	件	1	1	1	1	1			1			1		7
焼	損 棟 数	棟			1	1	1	1	1	1	2			2	10
	全焼	棟			1									1	2
	半焼	棟													
	部 分 焼	棟					1	1	1	1				1	5
	ぼや	棟				1					2				3
焼払	員床面積(建物)	m <sup>*</sup>			165		63	2						11	241
焼払	員表面積(建物)	m <sup>*</sup>					6		1	2				1	10
焼扌	員面積(林野)	а			3			10			2				15
死	者数	人													
	建物火災	人													
	建物火災以外	人													
負	傷者数	人			1		1				1				3
	建物火災	人			1		1				1				3
	建物火災以外	人													
損					9,212	1	10,368	153	82	489	41				20,346
	建物火災				9,212	1	10,368	153	82	29	41				19,886
	林野火災														
	車両火災									460					460
	船舶火災														
	航空機火災														
	その他の火災														
6)	災 世 帯 数	世帯			2	1	5	1		1	2				12
	全損	世帯			2		3								5
	半損	世帯													
	小損	世帯				1	2	1		1	2				7
1)	災人員	人			6	2	11	3		3	12				37

## 月別出火件数及び損害状況

									l						
区分	}	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出	火 件 数	件	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64
	建物火災	件		1	6	3	4	3	3	2	3	1		4	30
	林野火災	件			1			1			1	1			4
	車両火災	件	1				2	3		1					7
	船舶火災	件													
	航空機火災	件													
	その他の火災	件	5	2	1	2	2	1		3	1	4	2		23
焼	損 棟 数	棟		2	10	4	4	3	5	2	3	1		8	42
	全 焼	棟		1	2	1			2			1		3	10
	半焼	棟			1		1		1					1	4
	部 分 焼	棟		1	2	2	1	3	2	1	1			3	16
	ぼや	棟			5	1	2			1	2			1	12
焼損	員床面積(建物)	m		84	365	122	105	6	1,169		1	12		214	2,078
焼損	景表面積(建物)	m			15	4	6		5	2	2			5	39
焼扌	員面積(林野)	а			3			10			2	1			16
死	者数	人			1							1			2
	建物火災	人			1										1
	建物火災以外	人										1			1
負	傷者数	人			3		2	1	2		1			1	10
	建物火災	人			3		2		2		1			1	9
	建物火災以外	人						1							1
損	害額	千円	262	5,015	16,896	3,438	12,090	2,210	133,384	514	904	2		24,277	198,992
	建物火災	千円		5,015	16,896	3,438	12,050	760	133,384	49	904	2		24,277	196,775
	林野火災	千円													
	車両火災	千円	67				40	1,450		460					2,017
	船舶火災	千円													
	航空機火災	千円													
	その他の火災	千円	195							5					200
6)	災 世 帯 数	世帯		1	7	3	7	1		2	3			5	29
	全損	世帯			4		3							2	9
	半 損	世帯					1								1
	小 損	世帯		1	3	3	3	1		2	3			3	19
6)	災人員	人		2	18	10	15	3		8	14			13	83

## 過去10年間の出火件数の推移



原因別出火件数 (平成24年中)

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
たばこ			1							1	1		3
こ ん ろ			2	1	1	1			1			3	9
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼 却 炉													
スト – ブ				1									1
こ た つ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排 気 管			1										1
電気機器										1			1
電気装置	1												1
電灯・電話等の配線	2				1								3
内燃機関													
配線器具						1		1	1				3
火 遊 び										1			1
マッチ・ライター								1					1
たき火	1	1	1	1	1	2		1	1	3			12
溶接機・切断機					1			1					2
灯 火	1				1								2
衝 突 の 火 花													
取 灰													
火入れ					1								1
放火				1		2			1				4
放火の疑い	1												1
そ の 他			1	1	1	1	1	1	1				7
不 明   合 計		2	2		1	1	2	1			1	1	11
合 計	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64

## 過去10年間の主な出火原因の推移

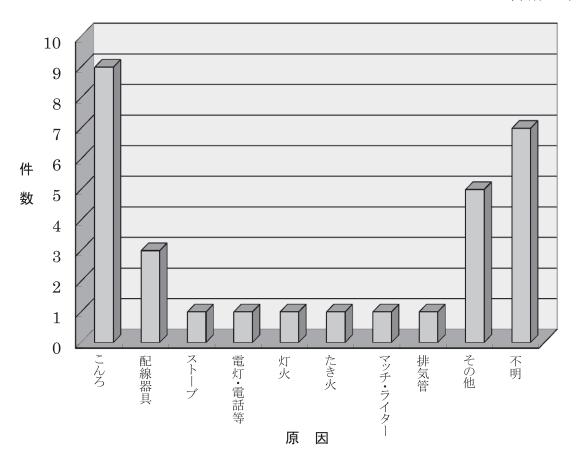
出	1位	放火 11件	たき火 13件	たき火 11件	たき火 14件	たき火 20件	たき火 15件	たき火 18件	たき火 11件	たき火 16件	たき火 12件
   火   原	2位	こんろ 10件	放火 9件	放火の 疑い 9件	放火	たばこ	放火 8件	こんろ 8件	たばこ こんろ	こんろ 10件	こんろ 9件
因	3位	たき火 5件	たばこ 7件	たばこ こんろ 7件	こんろ     11件	こんろ 7件	こんろ その他 6件	その他 7件	その他 6件	放火 7件	その他 7件
出り	火件数	66件	74件	81件	78件	77件	61件	74件	47件	73件	64件
統	計 年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年

## 建物用途別出火件数

(平成24年中)

原因	因別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
住		宅			2	2	1	1		2	2			3	13
共	同住	宅			1		2								3
寄	宿	舎													
事	務	所													
店		舗		1	1		1	1	1		1				6
エ		場													
作	業	場							1						1
倉		庫										1			1
納		屋				1									1
物		置													
置		場												1	1
車		庫			1										1
養	畜	舎													
そ	の	他			1			1	1						3
	合言	f		1	6	3	4	3	3	2	3	1		4	30

## 建物火災の出火原因



**覚知別出火件数** (平成24年中)

月別 覚知別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)			1		1			1				1	4
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)	2	1	4	2	1	5		3			1	1	20
火災報知専用電話 (携帯電話)	2		2		4	2	3	2	2	5	1	1	24
加入電話		1		1					1	1			4
加 入 電 話 (携 帯 電 話 )													
警察電話													
駆け付け通報													
事 後 聞 知	2	1	1	2	2				2			1	11
そ の 他						1							1
合 計	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64

曜日別火災概況 (平成24年中)

	F	为訳		出	火	件	数(	(件)		死傷者	<b>皆</b> (人)	)	焼損面積		損害額
曜日	別		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物 (㎡)	表面積(㎡)	林野 (a)	(千円)
日	曜	H	17	6	2	2			7	1	2	235	15	11	10,280
月	曜	H	7	5					2		3	644	8		9,364
火	曜	Ш	8	3	1	2			2		1	62		2	3,890
水	曜	П	6	3					3			13	1		153
木	曜	П	11	5	1	3			2	1	1	813		3	154,861
金	曜	П	7	4					3		2	110	6		12,359
土	曜		8	4					4		1	201	9		8,085
不		明													
合		計	64	30	4	7			23	2	10	2,078	39	16	198,992

## 時間別火災概況

内訳		出	火	件	数(	(件)		死傷者	皆(人)	)	焼損面積	į	損害額
曜日別	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)	(千円)
0 ~ 1													
1 ~ 2													
2 ~ 3	1	1							1	479	4		
3 ~ 4	3	1		2							4		1,440
4 ~ 5	2	2							1	774			138,317
5 ~ 6	1	1							1	63	6		10,368
6 ~ 7	1	1								1			141
7 ~ 8	2			1			1						610
8 ~ 9	3	2					1		1	50			3,380
9 ~ 10	3	2					1	1		1	1		1,041
10 ~ 11	5	2	1				2		2	122	4	3	5,238
11 ~ 12	4	1	1	1			1			122		2	19,228
12 ~ 13	4	3					1						56
13 ~ 14	3	1					2			121	4		3,296
14 ~ 15	6	1		1			4			12			42
15 ~ 16	5						5						
16 ~ 17	1		1									1	
17 ~ 18	3	2	1							5	2	10	1,389
18 ~ 19	3	2		1				1		152	9		4,485
19 ~ 20	7	5					2		2	176	3		9,814
20 ~ 21	2	2							1		2		26
21 ~ 22	3			1			2		1				50
22 ~ 23	1	1											
23 ~ 24													
不明	1						1						71
合 計	64	30	4	7			23	2	10	2,078	39	16	198,992

## **気象別出火件数** (平成24年中)

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	晴	2	1	5	3	3	3	1	5		5	1	1	30
天	曇	3	1	3	1	4	5	2		2	1	1	3	26
	雨	1			1	1			1	3				7
候	雪		1											1
	不明													
	合 計	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64
	無風状態	1	1	2	1	1		2					1	9
	北				1		2				1			4
	北北東	1				-	1			3	1	1		7
	北東	2			1	1	1		1	1	1			5 3 5 3
風	東北東			1	1		1		1				1	<u></u>
1246	東東東東			1		1			3		1		1	2
	東南東南東南東			1		1	3		1		1			4
	南南東			1		1	J				1			2
	南南					1					1			
	南南西				1			1						2
	南西		1			2			1		1			
	西南西			1									1	5 2 3
向	西西			2						1				3
1-7	西北西	2				1							1	4
	北西			1	1									2 4
	北北西		1			1	1					1		4
	不 明													
	合 計	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64
	1 未 満	1	1	2	1	1		2		1			2	11
	1 ~ 2	3	1	4	2	5	4	1		3	1		2	26
	2 ~ 3	2	1	2			2		2	1	3			13
風速	3 ~ 4				1	2	1		1		1	1		6
	4 ~ 5 5 ~ 6						1		<u> </u>		1	1		3
m	5 ~ 6 6 ~ 7				1		1		2 1					2 3
/ S	7 ~ 8				1		1		1					3
	8 以上													
	不明													
	合 計	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64
	40 未 満			1		1								
	40 ~ 50			2							1			2 3
	50 ~ 60	1		1	1	2	1				2			8
湿度	60 ~ 70	1		1		1			2		2	2	1	10
之	70 ~ 80	2		1	2	1	2		2	1	1			12
%	80 ~ 90		2		1		3		1				1	8
	90 ~ 100	2	1	2	1	3	2	3	1	4			2	21
	不 明													
	合 計	6	3	8	5	8	8	3	6	5	6	2	4	64

月別・市別出動車両・出動人員

分類	出	出	事	出事	動車両 ( <sup>·</sup>	台)	出	動人員 (.	人)
月別市別	火 件 数	動 件 数	後 調 査 件 数	計	消防署	消防団	計	消防署	消 防 団
1 月	6	4	2	15	15		52	52	
2 月	3	2	1	14	8	6	102	27	75
3 月	8	7	1	88	33	55	562	120	442
4 月	5	3	2	36	16	20	226	62	164
5 月	8	6	2	58	26	32	296	97	199
6 月	8	8		68	38	30	407	134	273
7 月	3	3		50	19	31	291	71	220
8 月	6	6		21	20	1	175	72	103
9 月	5	3	2	31	15	16	243	53	190
10 月	6	6		33	23	10	161	78	83
11 月	2	2		6	4	2	18	14	4
12 月	4	3	1	55	21	34	345	77	268
合 計	64	53	11	475	238	237	2,878	857	2,021
宗像市	43	35	8	253	153	100	1,283	556	727
福津市	21	18	3	222	85	137	1,595	301	1,294

<sup>(</sup>注) 出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。 事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

#### 平成24年中の救急概況

#### 1 救急出場件数等の概況

平成24年中の救急自動車による救急出場件数及び救急搬送人員は、5,599件、5,273人であり、平成23年中と比較した結果、件数は292件、搬送人員は261人それぞれ増加し、過去最高の出場件数、搬送人員となった。

救急自動車による出場件数は、一日平均15.3件で、約94分に1件の割合で救急出場し、市民の約29人(前年約30人)に1人が救急自動車により搬送されたこととなる。

また、覚知から現場到着までの所要時間の平均は7.8分(全国平均8.2分)、医療機関収容までの所要時間の平均は31.5分(全国平均38.1分)となり、全国平均よりも短時間での現場到着及び医療機関収容となっている。

ヘリコプター使用による搬送件数及び搬送人員は、10件、10人であり、平成23年中と比較した結果、件数は4件、搬送人員は4人と共に増加している(内訳〜福岡県ドクターヘリ4件、消防防災へリ1件、民間医療用ヘリ5件)。

#### 2 救急搬送人員の詳細

平成24年中の救急搬送人員を傷病程度別割合で見ると「軽症」が37.38%「中等症」51.92%を占めている。事故種別構成比で最も大きかったのは、全体の61.8%を占める「急病」であり、年々増加傾向にある。年齢区分別割合で見ると「高齢者(65歳以上)」が、全搬送人員の57.7%を占めており、「成人(18歳以上65歳未満)」の32.8%を大きく上回っている。

今後、高齢化の一層の進展による人口構成の変化が見込まれており、救急需要はさらに高まる可能性があるため、救急件数は増加傾向になると考えられる。

#### 3 市民による応急手当の状況

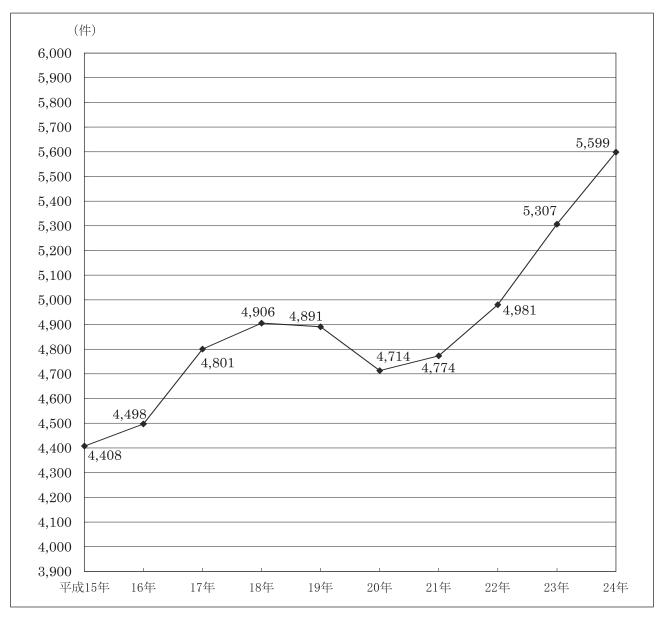
救命率の向上には、市民による応急手当実施率の向上、救急隊による迅速な搬送と応急処置、医療機関による適切な治療(救命のリレー)の地域総合力がいかに高いかが重要となる。

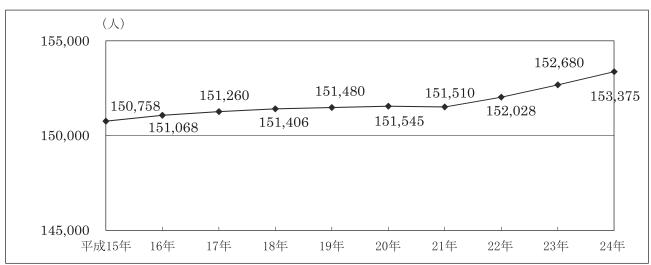
宗像地区消防本部では救命率の向上を図るため、バイスタンダー(救急現場に居合わせた人)による応急手当の普及啓発活動を推進し、平成6年から普及啓発に取り組み、現在までに延べ54,951人以上の受講者数に達している。

平成24年中に応急手当が実施された傷病者数は、救急隊が搬送した心肺停止傷病者数の 81.6%にあたる107人で、平成23年より23.2%増加している。

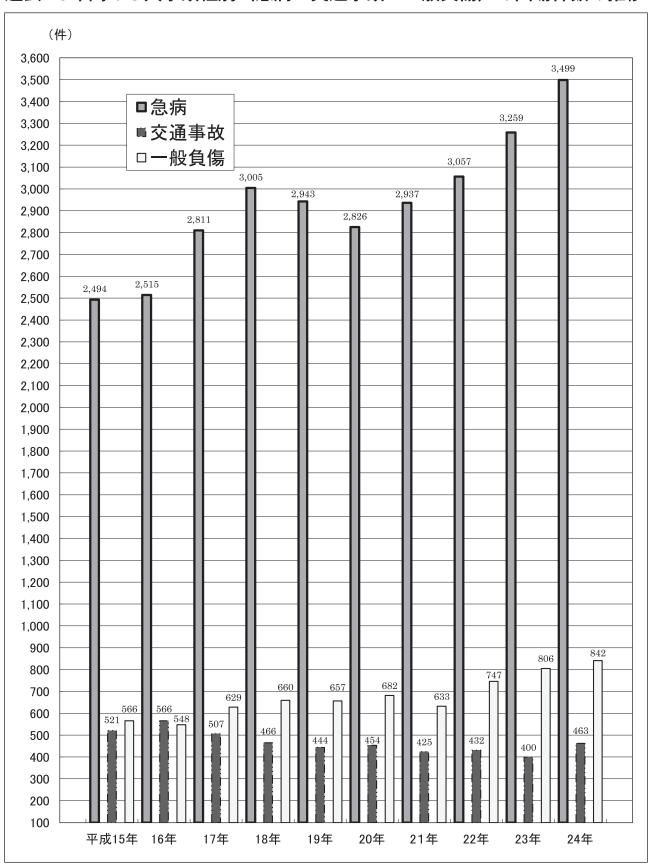
(平成24年中の心肺停止傷病者は131人で、平成23年中より18人の増加)

#### 過去10年間の救急出場件数及び人口の推移





過去10年間の3大事故種別(急病・交通事故・一般負傷)の出場件数の推移



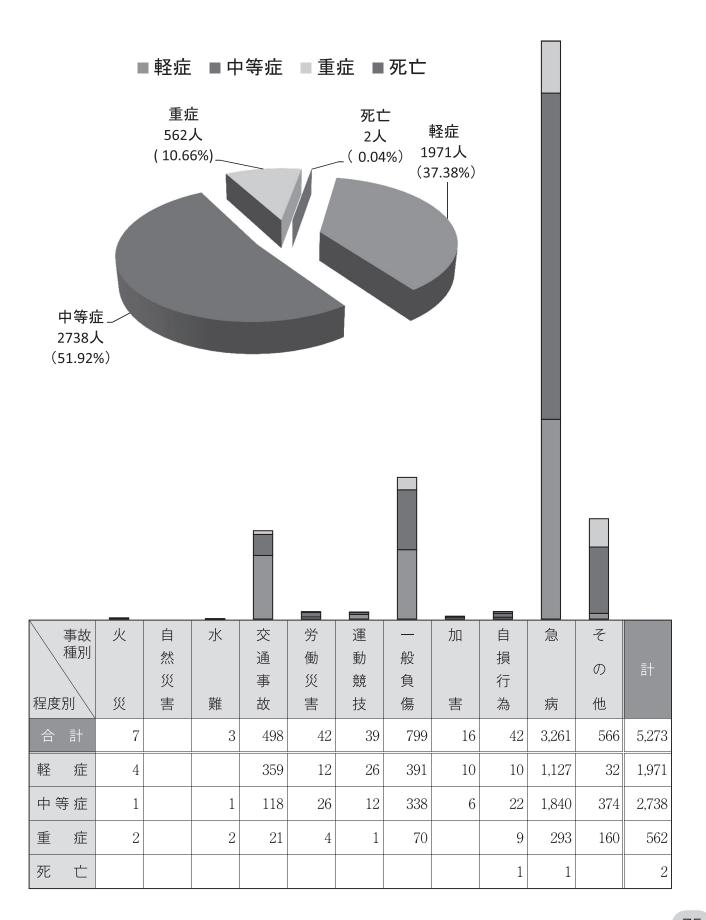
## 管内総括表

	事故	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	7	- 0	D .	他		不
	種別		然		通	働	動	般		損		転	医	資	そ	計	搬
		,,,	災	++14	事	災	競	負	_	行	ـــــــ	7.÷	<b>6</b> Т	器	0	= 1	
月別		災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	院	師	材	他	405	送
	1	-			29	5	3	66		7	330	52			3	495	<b>∖  </b>
	2	1			32	4	1	65	2	4	290	41			2	436	
	3	4			26	4	1	68	3	5	266	35			3	415	
出	4 5	2 2		1	38 38	5 5	6 5	70 70	2	$\frac{4}{7}$	280 272	55 52			3 2	463 456	
	6	4		1	30	2	2	58		5	266	41			5	413	
場	7	4			52	5	4	61	1	3	315	50			4	499	$ \cdot $
	8	1		4	43	3	5	79	1	7	323	47			4	517	$  \cdot  $
件	9	2		4	43	1	3	77	5	5	250	56			1	443	
	10	2			40	4	4	82	1	8	266	52			2	461	$  \cdot  $
数	11				47	3	2	65	4	5	310	48			1	485	
	12	5			45	6	5	81	1	1	331	39			2	516	
	合計	27		5	463	43	41	842	18	61	3,499	568			32	5,599	
	前年	25	1	2	400	51	42	806	10	72	3,259	592			47	5,307	i \
	1				26	4	3	60		4	307	51				455	40
	2				30		1	62		3	274	41				411	25
	3	2			26	4	1	66	1	3	255	35				393	22
	4	1			36	5	6	68		2	257	55				430	33
搬	5	1			38	5	5	63	2	6	251	52				423	33
224	6	1			30	2	2	54		3	243	40				375	38
送	7				48	5	3	57	1	2	297	50				463	36
件	8			3	39	3	4	73	1	3	301	47				474	43
1+	9	1			41	1	3	72	5	5	235	55			1	419	24
数	10	1			37	4	4	74	1	7	249	52				429	32
*^	11				46	3	2	64	4	3	289	48				459	26
	12				41	6	5	76	1	1	299	39				468	48
	合計	7		3	438	42	39	789	16	42	3,257	565			1	5,199	400
	前年	8	1	1	369	50	41	765	9	47	3,055	589			3	4,938	369
	1				32	4	3	60		4	308	51				462	<u> </u>
	2				31		1	62		3	274	41				412	\
, .	3	2			31	4	1	67	1	3	255	35				399	
搬	4	1			40	5	6	68		2	257	55				434	
234	5	1			45	5	5	63	2	6	251	52				430	
送	6	1			34	2	2	55		3	243	40				380	
1	7			_	52	5	3	57	1	2	298	50				468	
人	8			3	47	3	4	73	1	3	302	47				483	
員	9	1			50	1	3	79	5	5	236	55			1	436	
<del>J</del>	10	1			39	4	4	74	1	7	249	52				431	
	11				55	3	2	64	4	3	289	48				468	
	12 合計			2	42	6	5	77	16	1	299	39			1	470	
		7	1	3	498	42	39	799	16	42	-	565			_	5,273	
	前年	11	1	1	420	50	42	769	9	47	3,069	590			3	5,012	l \

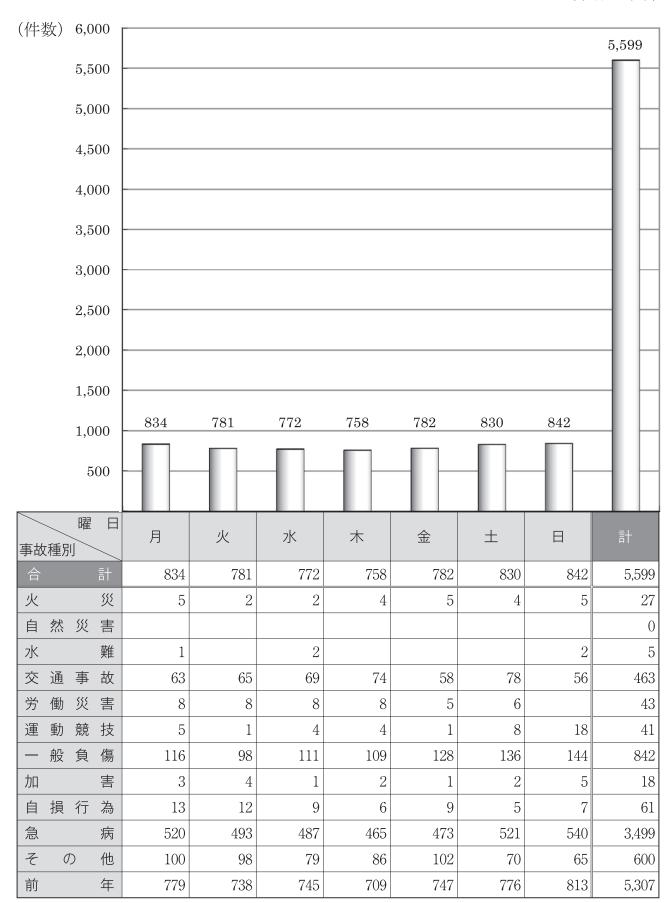
**市別総括表** (平成24年中)

	事故	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急		その	り 他	ļ		不
	種別		然災		通事	働災	動競	般負		損行		転	医	資器	その	計	搬
市別	训	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	院	師	材	他		送
	宗像市	16		2	270	26	31	525	14	39	2,198	415			19	3,555	
出場	福津市	11		3	192	17	10	317	4	22	1,301	153			13	2,043	
件	管 外				1											1	
数	合計	27		5	463	43	41	842	18	61	3,499	568			32	5,599	
·	宗像市	4		2	256	26	29	487	13	30	2,049	413			1	3,310	245
搬送	福津市	3		1	181	16	10	302	3	12	1,208	152				1,888	155
件数	管外				1											1	
**	合計	7		3	438	42	39	789	16	42	3,257	565			1	5,199	400
	宗像市	4		2	294	26	29	494	13	30	2,051	413			1	3,357	
送	福津市	3		1	203	16	10	305	3	12	1,210	152				1,915	
人員	管外				1											1	
	合計	7		3	498	42	39	799	16	42	3,261	565			1	5,273	

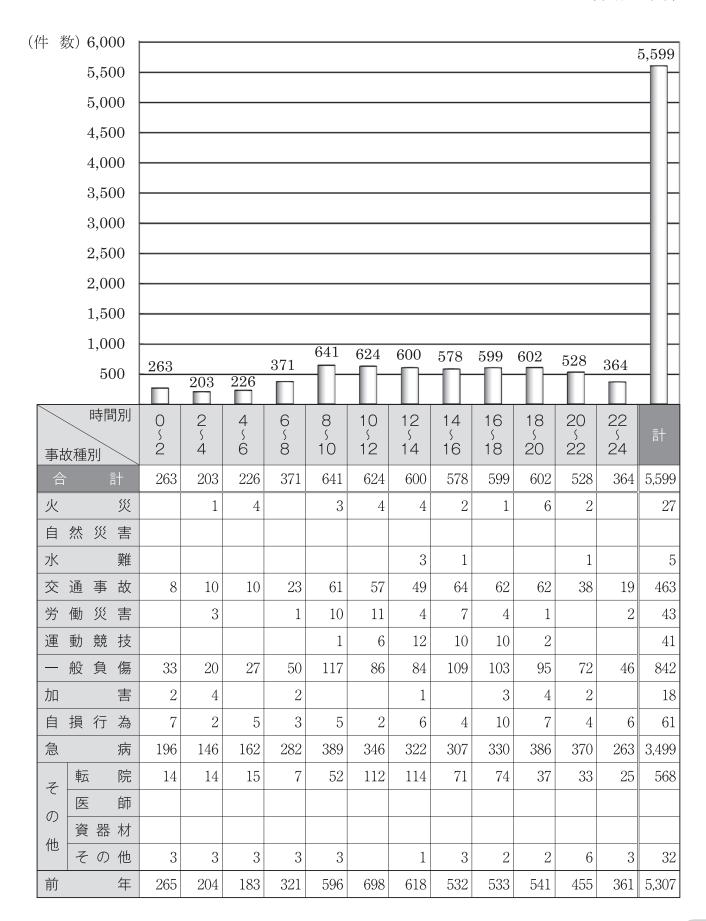
#### 傷病程度別救急搬送人員



## 曜日別救急出場件数



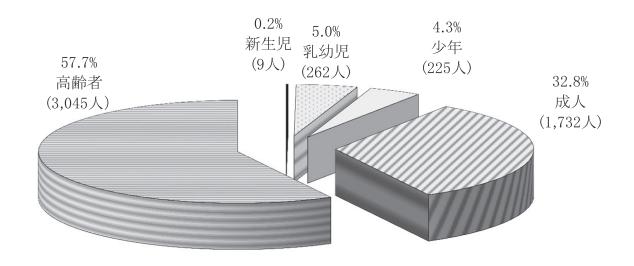
#### 時間別救急出場件数



## 年齢別救急搬送人員

(平成24年中)

■新生児 □乳幼児 □少年 □成人 ■高齢者



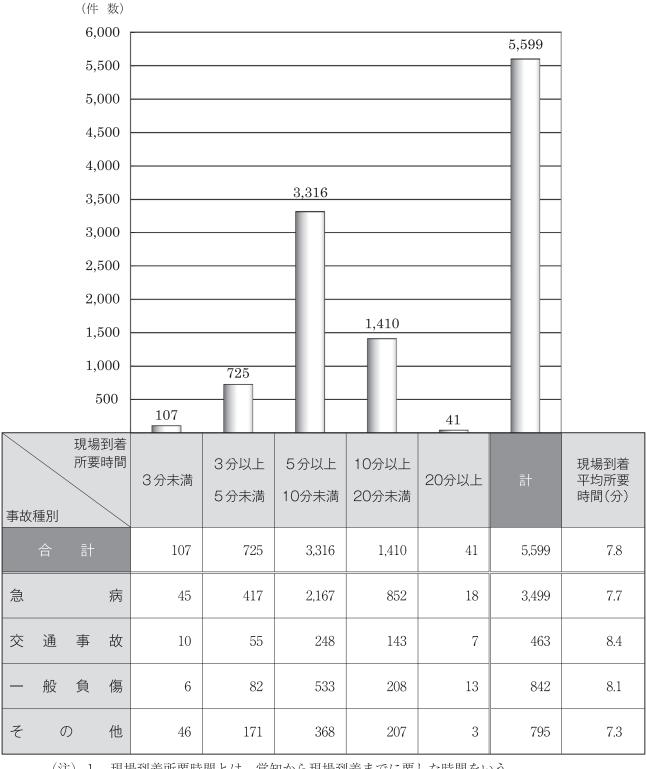
事故種別 年 齢	火災	自然災害	水	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児(生後28日未満)							1			2	6	9
乳 幼 児(生後28日以上満7歳未満)			1	19			47			165	30	262
少 年(7歳以上18歳未満)	1			57	1	21	39	4		80	22	225
成 人 (18歳以上65歳未満)	4		2	313	36	18	151	10	36	988	174	1,732
高 齢 者 (65歳以上)	2			109	5		561	2	6	2,026	334	3,045
合計	7		3	498	42	39	799	16	42	3,261	566	5,273

## 急病にかかる疾病分類別救急搬送人員

年齢		<b></b>	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
	死	亡											
新	重	症											
生	中等	等 症									1		1
児	軽	症									1		1
	//\	計									2		2
	死	亡											
乳	重	症				1					2		3
幼	中氧	等 症				2		1			9	16	28
児	軽	症				6		6	1		60	61	134
	小	計				9		7	1		71	77	165
	死	亡											
少	重	症											
	中等	等 症			3	2	3	2	1		16	2	29
年	軽	症		1	1	7	6	6			22	8	51
	//\	計		1	4	9	9	8	1		38	10	80
	死	亡											
成	重	症	31	12	2	1		1		6	10	7	70
	中等	等 症	44	45	43	22	45	30	25	8	153	108	523
人	軽	症	9	17	26	22	65	22	19		130	85	395
	/]\	計	84	74	71	45	110	53	44	14	293	200	988
	死	亡		1									1
高	重	症	76	57	8	19		2	2	12	33	11	220
齢	中等	等 症	215	157	116	171	5	27	22	27	318	201	1,259
者	軽	症	36	45	32	33	28	16	10	2	199	145	546
	小	計	327	260	156	223	33	45	34	41	550	357	2,026
	死	ť		1									1
≡⊥	重	症	107	69	10	21		3	2	18	45	18	293
計	中等	等 症	259	202	162	197	53	60	48	35	497	327	1,840
	軽	症	45	63	59	68	99	50	30	2	412	299	1,127
合		計	411	335	231	286	152	113	80	55	954	644	3,261

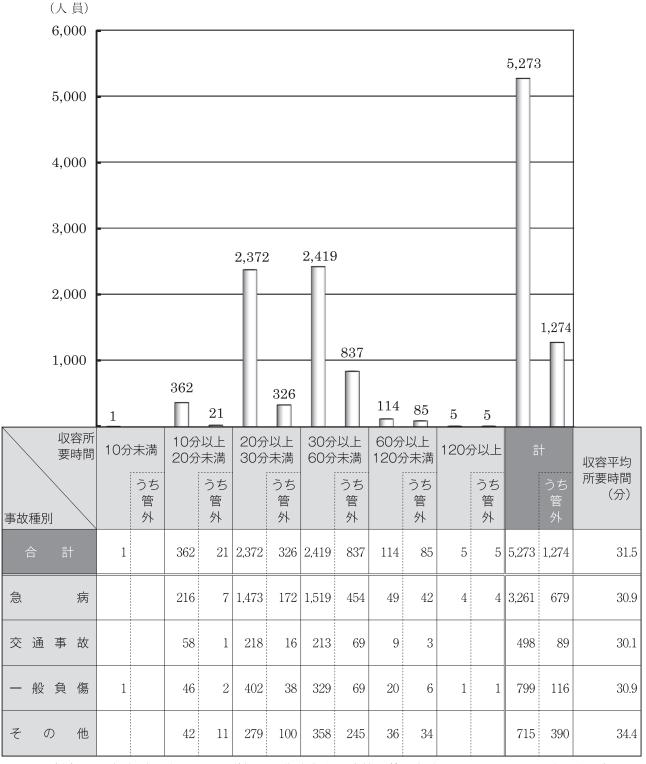
<sup>(</sup>注) 年齢区分のうち「新生児」は生後28日未満、「乳幼児」は生後28日以上満7歳未満、「少年」は7歳以上18歳未満、「成人」は18歳以上65歳未満、「高齢者」は65歳以上を示す。

#### 現場到着所要時間別出場件数



- (注) 1 現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。
  - 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

#### 医療機関収容所要時間別搬送人員



- (注) 1 収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。
  - 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

## 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
如置対象 如置項目	:人員	3,258	497	798	714	5,267
止	ш	18	14	44	13	89
固	定	74	354	397	82	907
人 工 呼	吸	44	1	4	12	61
酸素吸	入	928	44	69	307	1,348
保	温	1,711	189	358	343	2,601
被	覆	9	84	167	33	293
心肺蘇	生	86	4	14	17	121
うち自動式心マッサージ器	器使用	1			1	2
在宅療	法	25		6		31
ショックパン	ッツ					
血 圧 測	定	3,065	476	754	673	4,968
心音・呼吸音聴	恵取	3,116	454	665	653	4,888
血中酸素飽和度测	則定	3,168	492	787	692	5,139
心 電 図 測	定	3,071	330	631	651	4,683
気 道 確	保	178	6	24	40	248
うち経鼻エアウェイを使用しての気	道確保	6	1	1		8
うち喉頭鏡・鉗子等による異	物除去			1		1
うちラリンゲアルマスク等を使用しての	気道確保	49	1	7	4	61
うち気管挿管を使用しての気法	道確保	1		1		2
除細	動	7		1	1	9
静 脈 路 確	保	71	4	9	13	97
薬 剤 投	与	21		1	1	23
その	他	3,178	431	748	687	5,044

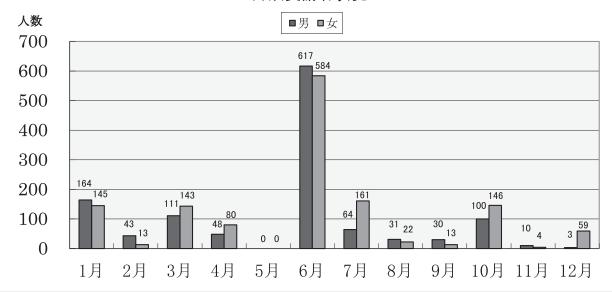
<sup>(</sup>注) 1. 1名に付き複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置 項目の計の数とは一致しない。

<sup>2.</sup> 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

## 応急手当普及啓発活動状況

(平成24年中)

#### 月別受講者状況



		普通	救命講習	<b>』.Ⅱ</b>	· II			上:	級数	命 講	習			+
月別			受 講	者 数	[			!	受 講	者 数			П	
73733	男	再講習	女	再講習	合 (男·女)	計 (再講習)	男	再講習	女	再講習	合 (男·女)	計(再講習)	普通· 上級	再講習
1月	164	29	145	28	309	57							309	57
2月	43	25	13	5	56	30							56	30
3月	111		143		254								254	
4月	32	9	42	8	74	17	16	3	38	4	54	7	128	24
5月														
6月	617	8	584	12	1,201	20							1,201	20
7月	64	13	161	69	225	82							225	82
8月	31	1	22	1	53	2							53	2
9月	30	7	13		43	7							43	7
10月	91	27	130	8	221	35	9		16		25		246	35
11月	10	2	4		14	2							14	2
12月	3		59	17	62	17							62	17
小計	1,196 121 1,316 148 2,512						25	3	54	4	79	7	2,591	276
合計	2,512 (269)										79	(7)	2,59	01 (276)
累計				52,	687 (6,	713)					2,264 (	166)	54,951	(6,879)

	2,591人 2,512人 79人
うち普通救命講習 受講者数	4,951人 2,687人 2,264人
※平成24年中の応急手当普及員講習 受講者数 ※平成24年中の救急講習回数~58回 受講者数~1,458人	14人

## 消防隊による救急活動・救急支援活動状況

・消防隊による救急活動件数

(平成24年中)

		事故	種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	
				然		通	働	動	般		損		の	計	
					災		事	災	競	負		行		0)	ĒΙ
市另	}[]			災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他	
111	宗	像	市				17	1		24	2	3	120		167
出場	福	津	市				15		1	15		3	53		87
件数	管		外												
**	合	i	計				32	1	1	39	2	6	173		254

<sup>※「</sup>消防隊による救急活動」とは、救急隊が現場到着まで10分以上要する場合に消防隊が先行出動し、 救急隊に引継ぐまで応急処置等を行うもの。

#### ・消防隊による救急支援活動件数

		事故	種別	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ	
			然		通	働	動	般		損		の	<b>=</b> ⊥		
				災		事	災	競	負		行		0)	計	
市別	}IJ			災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他	
	宗	像	市			1	46	3		43	3	21	298	1	416
出場	福	津	市			1	43	3		17	1	9	202	3	279
件数	管		外												
×X	合		計			2	89	6		60	4	30	500	4	695

<sup>※「</sup>消防隊による救急支援活動」とは、救急隊単隊では搬送困難な場合や救急活動に際し危険がある場合に救急隊と同時出動し、搬送支援または現場安全確保にあたるもの。

#### 平成24年中の救助概況

平成24年中の救助出動件数は61件で、前年に比べ2件減少している。 救助活動件数29件で、8件増加している。

なお、救助人員は30人で、前年に比べ9人増加している。 (下表参照)

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、交通事故の23件で全体の37.7%を占めている。次いで火災の21件(34.4%)で、以下その他の事故の12件(19.6%)、水難事故の3件(4.9%)の順となっている。

また、救助活動件数では、交通事故が最も多く16件で全体の55.1%を占め、次いでその他の事故の9件(31%)、火災の2件(6.8%)の順となっている。

救助人員は30人で、救助活動1件当り1.03人を救助していることになり、事故種別ごとにみると、交通事故によるものが19人で、昨年と同様最も多く、全体の63.3%を占めている。

#### 救助活動件数及び救助人員の推移

区分	救 助 活	動件数	救助人員					
年	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率				
20年	24	<b>▲</b> 33.3%	22	<b>▲</b> 40.5%				
21年	24	0%	23	4.5%				
22年	20	<b>▲</b> 16.6%	23	0%				
23年	21	5%	21	▲ 8.6%				
24年	29	38%	30	42.8%				

**管内総括表** (平成24年中)

事故種別	火	交通事	水 難 事	風自水然害災	よ機る横事	よる物事等	酸ガ欠ス事及		のそ 事の	合	前
区分	災	故	故	等害	故に	故に	故び	故	故他	計	年
出動件数(件)	21	23	3		1	1			12	61	63
活動件数(件)	2	16	1			1			9	29	21
救助人員(人)		19				1			10	30	21
活動人員(人)	23	190	16			10			260	499	266
活動車両台数(台)	7	55	5			3			46	116	82

**主な救助活動** (平成24年中)

発生月日	発生場所	事故種別	事故内容	出動	状況	活動	状況	救助
光土万口	光土场別	争以他们	争叹闪台	人員	台数	人員	台数	人員
2月20日	宗像市	その他の 事故	JR鹿児島本線上り線路において線路内に人影が見えたため、特急ソニックを停止させ車掌が周囲を確認したところ、最後尾の車体の下に人が倒れていたのを発見したもの。 救助隊到着時、要救助者はソニック車体の下で腹臥位となっており、挟まれ等もなく意識ありの状態であった。上下線とも列車を停止させ、下り線路よりバックボードにて救出。ドクターへリに引き継いだ。	13	4	13	4	1
6月6日	福津市	交通事故	軽乗用車とマイクロバスの衝突事故により、 1名が負傷したもの。 救助隊到着時、軽乗用車の運転手が下肢を挟まれた状態であった。フロントボディーピラーをレスキューカッターにて切断後、ハンドルコラムにワイヤーを掛け、救助工作車のフロントウインチにて牽引し、救出スペース確保。バックボードを使用し運転手を車外に救出。ドクターへりに引き継いだ。	17	5	14	4	1
11月13日	宗像市	交通事故	普通乗用車の単独事故により、助手席側が大破し、5名が負傷したもの。 1名は自力にて脱出。1名は車外に投げ出され事故車両下部に入り込んだ状態。残り3名が車内に取り残されていたもの。各要救助者は挟まれ等はなくバックボード及びスクープストレッチャーにてそれぞれ救出。救急車及びドクターへりに引き継いだ。	25	7	25	7	4
12月31日	宗像市	その他の 事故	許斐山山頂(標高271m)にて、急病人が発生したもの。 救助隊出動と同時に福岡市消防局消防へリコプターを要請。救助隊山頂到着時、第一発見者により胸骨圧迫が行なわれていた。救助隊員と胸骨圧迫を交代、バーティカルストレッチャーに収容後消防へリコプターにピックアップし、病院へ搬送した。	17	4	17	4	1

## 市別救助出動件数

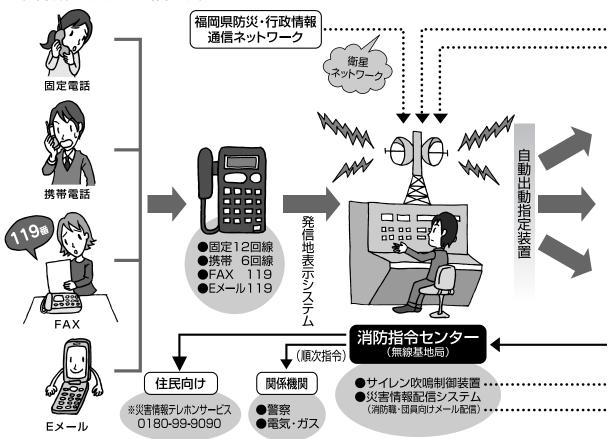
(平成24年中)

市別	事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 第	よる事故 に	よる事故	酸欠事故	破裂事故	の 事 故 他	計
.44.	宗像市	13	11	1			1			8	34
出動件数	福津市	8	12	2		1				4	27
件	管 外										
XX.	合 計	21	23	3		1	1			12	61
	事故種別	火	交通事故	水難事故	風 水 害 等	よ機 事 に	よ建る物事:	酸欠事故	破裂事故	のそ 事の	計
市別		災	故	故	等害	故に	故に	故び	故	故他	
汗	宗像市	2	7				1			6	16
動	福津市		9	1						3	13
活動件数	管外										
女义	合 計	2	16	1			1			9	29
	事故種別	火	交通事故	水難事故	風 水 害 等 害	よる事故 に	よる 事	酸ガスみ	破裂事故	のそ 事の	計
市別		災	故	故	等害	故に	故に	故び	故	故他	
<del>11/1</del>	宗像市		10				1			6	17
救助人員	福津市		9							4	13
	管外										
貝	合 計		19				1			10	30

## 月別救助出動件数

事故種別	火	交通	水	自風	よ機	よ建る物	酸ガ 欠ス	破型	のそ		前
川重加り		通 事 故	難 事	然水 災害	る <sub>械</sub> 事 故に	る物 事等	事及	裂事故	事の	計	
月別	災	故	故	害等	故に	故に	故び	故	故他		年
合計	21	23	3		1	1			12	61	63
1月		1							1	2	9
2月	1								1	2	7
3月	4	1								5	5
4月	2									2	5
5月	2		1							3	6
6月	3	5							1	9	5
7月	3	5							3	11	5
8月	1	2	2						1	6	2
9月	1	4			1				1	7	3
10月	1	1							1	3	2
11月		2								2	6
12月	3	2				1			3	9	8

## 高機能消防通信指令システム



# 通報受付

指令台で119番通報を受け付ける とコンピュータによる 処理が開始さ



# 災害地点・種別決定

発信地表示システムや地図検索装置 を使って、災害の発生場所を確認し ます。また通報内容から災害の種別 や規模を決定します。



## 全電話対応発信表示システム

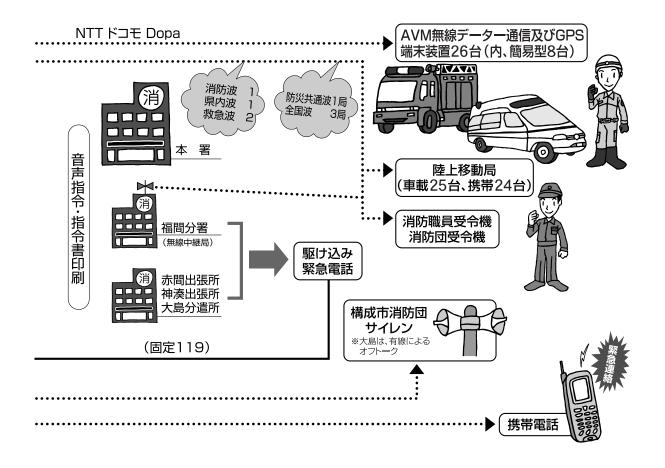
19番通報をした場所が瞬時に表示され、的確な 出動指令を出すことができます。一般の電話は もちろんのこと、携帯電話、P電話からの119番 も対応可能です。

119番通報を受信中であることを 自動的に消防署所内にアナウンスし、 出動の準備を整えます。



#### 地図検索装置

災害発生時に地図を表示し、災害地点の確定に 使用します。



## 04 車両編成

車両動態位置管理システムを使って 災害地点に最も早く到着できる消防 車両を選定、消防署所や移動中の車 両に出動指令を行います。



#### 自動出動指定装置

出動時の部隊編成、事案の処理を行います。

# 05 支援情報

カーナビゲーション装置には災害現場までの地図や建物の状況、道路情報等を表示し、災害現場に向かう消防隊をサポートします。



カーナビゲーション

災害現場への誘導を迅速、確実に行います。

# 06 災害記録

119番通報の内容や災害現場での 活動状況を消防署所のOAシステム に入力し、各種の統計等に活用します。



消防OAシステム

災害情報の一元管理、被害状況の分析・報告事務を行います。

## 119番受信状況

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	計	5	1	5	4	4	12	12	6	3	6	4	9	71
火	固定電話	1	1		2		5	3	3		1	1	2	19
災	IP 電 話	1		3	1	1	1	1	2	1			3	14
	携帯電話	3		2	1	3	6	8	1	2	5	3	4	38
	計	476	436	403	453	449	395	475	503	424	444	463	488	5,409
救	固定電話	233	198	183	205	199	170	197	204	183	191	208	217	2,388
急	IP電話	117	104	107	113	102	105	120	119	109	107	114	129	1,346
	携帯電話	126	134	113	135	148	120	158	180	132	146	141	142	1,675
	計	1				1	1	7	3	2	2	1	2	20
救	固定電話	1						3					1	5
助	IP 電 話						1	1			1			3
	携帯電話					1		3	3	2	1	1	1	12
外の災害、事の火災救急救助る	計	4	2	5	6	5	9	16	10	4	3	4	6	74
災救	固定電話	1	1	2	1	1	3	6	3	2		1		21
で、数	IP電話	1		2	2			2	1	1	1	1		11
案以	携帯電話	2	1	1	3	4	6	8	6	1	2	2	6	42
	計		1		2	2	2	1	1	2	1			12
いたずら	固定電話		1					1	1	1				4
ずら	IP 電 話													
	携帯電話				2	2	2			1	1			8
間	計	40	58	44	53	62	53	61	64	73	85	55	97	745
間 違い 通 報	固定電話	19	25	11	19	17	27	27	18	20	29	16	53	281
通	IP電話	6	5	6	4	5	7	7	9	8	10	7	9	83
学校	携帯電話	15	28	27	30	40	19	27	37	45	46	32	35	381
声	計	11	6	7	7	8	4	8	4	2	5	9	7	78
転送送信	固定電話	2	2	1			1			1	1	1	2	11
送     信	IP電話		1			1		1			1			4
	携帯電話	9	3	6	7	7	3	7	4	1	3	8	5	63
	計	167	125	159	160	153	176	243	157	175	176	192	185	2,068
その他	固定電話	91	46	76	74	77	86	98	68	84	86	79	79	944
他	IP電話	21	23	21	22	25	38	39	29	35	37	53	41	384
	携帯電話	55	56	62	64	51	52	106	60	56	53	60	65	740
	計	704	629	623	685	684	652	823	748	685	722	728	794	8,477
合	固定電話	348	274	273	301	294	292	335	297	291	308	306	354	3,673
計	IP 電 話	146	133	139	142	134	152	171	160	154	157	175	182	1,845
	携帯電話	210	222	211	242	256	208	317	291	240	257	247	258	2,959